

平成 19 年度以降の総括班、計画研究班、公募研究班の連携内容

総括班「総合的研究手法による西アジア考古学」（代表者：大沼克彦）

領域の総括、各計画研究の進行状況の調整、シンポジウムの開催、研究発表会の開催、広報、教育プログラムの実施、若手研究者の育成、渉外

計画研究「西アジア旧石器時代の行動進化と定住化プロセスの関係」（代表者：佐藤宏之）

定住化以前の多様な文化内容を研究する。特に、定住化を準備した生業、居住、技術、社会関係の相関関係に着目した研究を、西アジアと世界各地のデータを駆使して実施する：連携の具体的内容：**ビシュリ山系の踏査（可能ならばサウンディングもおこなう）、西アジアと世界各地研究機関所蔵資料の調査**

計画研究「西アジア乾燥地帯への食料生産経済波及プロセスと集団形成」（代表者：西秋良宏）

ビシュリ山系での遺跡踏査を通して、新石器農耕民による乾燥地帯開発の実態を考古学的に解明する：連携の具体的内容：**ビシュリ山系の踏査（可能ならばサウンディングもおこなう）**

計画研究「セム系遊牧部族の墓制に関する比較研究」（代表者：藤井純夫）

遊牧民遺跡の体系的な調査を実施し、西アジアにおける遊牧化に関する普遍的なモデルを創造し、西アジア全域の新石器化過程を包括的に再編する：連携の具体的内容：**ビシュリ山系の踏査（可能ならばサウンディングもおこなう）**

計画研究「西アジアにおける都市化過程の研究」（代表者：常木 晃）

ビシュリ山系周辺の紀元前 4 千年紀～3 千年紀に焦点をあて、考古学、歴史学、言語学の視点から都市と遊牧社会の関わりを研究し、都市形成の実態を解明する：連携の具体的内容：**遺跡発掘調査、ビシュリ山系の踏査**

計画研究「北メソポタミアにおけるアッシリア文明の総合的研究」（代表者：沼本宏俊）

アッシリア文明の解明を目的とし、発掘調査と、既存考古資料や文献資料の多角的分析を通して、その政治、経済、宗教、社会構造に関わる不明瞭部分を解明する：連携の具体的内容：**遺跡発掘調査、ビシュリ山系の踏査**

計画研究「「シュメール文字文明」の成立と展開」（代表者：前川和也）

前 4 千年紀末から 2 千年紀前半にかけてメソポタミア地域で粘土板文字記録システムがどのようにして成立し、どのように各地にひろがったかを考察する。特に、藤井、常木、沼本、本郷班と緊密に協力しながら、言語と社会、国家構造の実相を解明する：連携の具体的内容：**欧米研究機関所蔵の西アジア出土資料の調査、文献研究**

計画研究「パレスチナにおける都市の発達とセム系民族の文化的展開」（代表者：月本昭男）

パレスチナにおける調査・研究と文献記録の研究を通してセム系民族の歴史を研究する：連携の具体的内容：**パレスチナでの調査・研究、文献研究**

計画研究「環境地質学、環境化学、14C 年代測定にもとづくユーフラテス河中流域の環境変遷史」（代表者：星野光雄）

地質・地形・植生調査、地質層序、放射性炭素年代測定、堆積物の鉱物学的・化学的分析、

花粉分析などを通して、ビシュリ山系における自然環境の変遷史を構築する：連携の具体的内容：**ビシュリ山系の踏査、周辺地域の踏査**

計画研究「ユーフラテス河中流域とその周辺地域の住民に見られる形質の時代的变化」（代表者：石田英實）

ユーフラテス河中流域のビシュリ山系と周辺の古人骨研究の基礎を体系的に構築する：連携の具体的内容：**中近東由来の古人骨標本のデータベース化とビシュリ山系の位置づけ**

計画研究「西アジア先史時代から都市文明社会への生業基盤の変化に関する動物・植物考古学的研究」（代表者：本郷一美）

特に西秋班と連携しながら、タウルス山脈東部山麓からザグロス山麓にかけた調査をおこない、動物骨や植物の種子や花粉の分析を通して、定住村落での家畜飼育や穀物栽培など、食性や生業形態の変遷を研究する：連携の具体的内容：**遺跡発掘調査出土資料および周辺遺跡出土資料の調査**

計画研究「古代西アジア建築における組積技術の形態と系譜に関する研究」（代表者：岡田保良）

西アジア建築文化圏に関して、建築文化が根付いた初期文明期以降、新バビロニア帝国がペルシアによって解体された紀元前6世紀にいたるまでの、セム系部族が活躍した古代前期を対象として、組積造による建築形態と技術に関する過去の調査成果と実地踏査に基づく研究を実施する：連携の具体的内容：**遺跡発掘調査への参加、ビシュリ山系の踏査、周辺地域の踏査**

計画研究「オアシス都市パルミラにおけるビシュリ山系セム系部族文化の基層構造と再編」

（代表者：宮下佐江子）

マリ文書の中で古代名「タドモール」として記されているオアシス都市パルミラの紀元後1 - 3世紀の美術作品を対象として、セム系社会の文化が、地中海世界や東方文化と出会うことでどのように変容あるいは再編したかを解明する：連携の具体的内容：**パルミラ遺跡出土資料の調査、遺跡発掘調査出土資料およびビシュリ山系と周辺地域出土資料の調査**

計画研究「西アジアにおける考古遺跡のデータベース化の研究：衛星画像解析による

探査法」（代表者：松本 健）

メソポタミア地方の遺跡を衛星画像で解析し、パターン化する。また、ビシュリ地域の踏査に基づき、同地の特徴的な遺跡群の位置、範囲、形、色、高さ、植生、堆積物の状況などを解析し、遺跡のパターン化を試みる：連携の具体的内容：**ビシュリ山系の踏査、周辺地域の踏査**

公募研究「北方ユーラシア遊牧民部族社会の考古学的研究」（代表者：高濱 秀）

形成年代、形成経緯、構造などの観点から、北方ユーラシア遊牧民部族社会とセム系遊牧民部族社会を比較研究する：連携の具体的内容：**遺跡発掘調査への参加、ビシュリ山系の踏査、周辺地域の踏査**